



雪の神奈川学習センター

目次

学力の三要素と放送大学での学び (所長 福富洋志)	2
新型コロナウイルスについて 8 (2 回目の冬) (客員教授/学校医 大重賢治)	3
春のフェスタ・ヨコハマのご案内	3
私とジェンダー研究 (客員教授 白水紀子)	4
2021 年 10 月学生生活に関するアンケート (K-サポート機関誌編集チーム)	6
令和 3 年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧	8
神奈川同窓会主催「年末特別講演会」の紹介	8
2022 年度第 1 学期単位認定試験のお知らせ	9
K-サポートより	9
学生サークルからのお知らせ	10
神奈川学習センターからのお知らせ	12

学力の三要素と放送大学での学び

放送大学神奈川学習センター 所長 福富洋志

令和3年度第2学期の単位認定試験が終了し、新学期に備えている学習計画を立てていらっしゃると思います。この機会に、放送大学での学びについて改めて考えてみたいと思います。

若い世代の皆さんはご存知だと思いますが、近年、学力の三要素で示される力を修得することが教育の基盤になっています。①基礎的な知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性・多様性・協働性、の三点です。この三要素は、科学技術だけでなく、社会の変容も早く予見が困難なこれからの時代に、主体的に人生を切り開いていくために身に付けるべき力として初等中等教育について示されたものですが、本学での学び、特にこれらの要素が十分には意識されていない時代に学んだ皆さんにとっては、新たな学習目標として意識することが重要であると思います。

これまでの教育は、知識・技能の習得に重点が置かれてきました。大学教育では、アドバンスな知識や技能の修得が図られてきましたが、知識を構造化して理解する力や体系化する力など、より深い思考力を修得することの重要性がこれまで以上に増していくものと思われます。また、問題の所在を明らかにして解決方法を検討し、他者との対話や議論を踏まえながら結論に到達する力、そしてその結論を多様性を尊重しながら協働で実行する力などの修得もこれからの大学教育で強く意識されていくことでしょう。

時代と共に教育は変わってきました。語学教育、情報教育はその典型例ですが、重要視される学力も変わりつつあると言えます。通学制の大学はすでにいろいろな取り組みを行っており、

これらの教育を受けた大卒者が社会を担いつつあります。

お気づきのように、学力の三要素の会得には、議論、意見交換、多様性の受容など、他者との関わりを持つことが重要になります。通信教育での学びでは決して容易ではありませんが、放送大学においては卒業研究や面接授業に積極的に取り組むことを考えていただきたいと思います。また、これらの科目の受講だけでなく、学生の皆様が自ら他者との関わりを持つ機会を作っていくことも重要です。機関誌で毎号お知らせしているゼミやサークル活動に取り組むことは意義深いと思います。時代が求める力を、年代を問わず、学生の皆様が放送大学で修得されることを期待しています。

追伸

ふゆだよりではコロナ禍に触れる必要がなくなることを祈念していました。数週間前までこの期待は実現しそうでしたが、残念ながら1月中旬からこれまで経験のない、多数の感染者数が報告されるようになりました。

神奈川学習センターは窓口業務、図書閲覧室、視聴学習室の利用を昨年10月12日から続けてまいりました。この間も神奈川県内で感染は継続して発生していましたが、学生の皆様のご協力のおかげで、学習センターでの感染はありませんでした。御礼を申し上げます。しかし、まん延防止等重点措置の発令により、誠に残念ですが、当面学習センターの業務のほとんどを停止せざるを得なくなりました。詳細はウェブサイトにてお知らせします。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスについて 8 (2 回目の冬)

放送大学神奈川学習センター 客員教授/学校医 大重賢治

2022 年 1 月下旬、日本ではオミクロン株が猛威を振るっています。オミクロンとは、変異株に対して WHO が名付けているギリシャ文字の呼び名ですが、変異株は他に PANGO 系統 (PANGO lineage) による標識がなされます。オミクロン株は PANGO 系統により B.1.1.529 と標識されています。

PANGO 系統は、新型コロナウイルスに関して用いられる国際的な系統命名分類法で、命名にはルールがあります。アルファベットと数字で表されますが、世代はドットで区切られます。例えば、アルファ株は B.1.1.7 ですが、B.1.1 の“こども”の中で 7 番目に名付けられた“こども”という意味です。ちなみにデルタ株の PANGO 系統による標識は、B.1.617.2 で、アルファ株とは“いここ”になります。長くなるのを避けるため、表記は 3 世代までとする、というルールもあります。その際、別のアルファベットが付けられるため、“おや”のアルファベットと“こども”のアルファベットが離れていることがあります。

さて、今年の「あきだより」で、2021 年 10 月にデルタ株が世界制覇をほぼ成し遂げたと書きました。11 月の段階では、日本ではデルタ株の勢いが衰えていたものの、世界的にはデルタ株系統が栄華を誇っていました。デルタ株が世界制覇したので、次の「懸念される変異株 (variant of concern: VOC)」が出現するとしたら、デルタ株の子孫からだろうと多くの方が考えていました。私もその一人でした。ところが昨年 11 月に確認されたオミクロン株の出自は“デルター門”ではありませんでした。まことに意外でした。

PANGO 系統によるとオミクロン株は、アルファ株の“きょうだい”で、デルタ株の“いここ”にあたります。現状を例えるなら、地方の豪族 (といっても親戚です) が、勢力を拡大して“デルター門”による支配を崩壊に導こうとしているといった図式です。“おごれる人も久しからず”ということでしょうか。新型コロナウイルスの流行、および流行株の盛衰には予想外の展開が多く、「科学」するのに不足はないようです。

春のフェスタ・ヨコハマのご案内

2022 年 3 月 19 日 (土) に放送大学神奈川サークル協議会、神奈川同窓会、K-サポートの 3 団体共催の春のフェスタ・ヨコハマを開催します。新型コロナ感染症対策のため、今回の企画は Zoom によるオンライン開催とし、福富所長の退任記念特別講演会を行います。



日時：2022 年 3 月 19 日 (土)
13:30~15:00
講師：福富洋志
放送大学神奈川学習センター所長
演題：『材料現象のメカニズム研究と材料開発のキャッチボール』

オンライン公開講演会の参加申込方法について

下記 URL の参加申込フォームに氏名、メールアドレス、電話番号等を記載のうえお申込ください。後日ご登録のメールアドレスに、参加要領をメールにてご連絡します。

参加申込フォーム URL :
<https://kcc-ouj.net/application-form/>



お問合せ：高橋照夫 (春のフェスタ特別講演会事務局)
nsjxw765@yahoo.co.jp



私とジェンダー研究

放送大学神奈川学習センター
客員教授

白水 紀子

中国近現代文学との出会い

今年の日中国交正常化五十周年という記念すべき年にあたります。五十年前の一九七二年当時、「中国に好感を持っている」と回答した人が八割を超えるほど日本は友好ムードに包まれていました。そういう年に大学に入学した私が第二外国語に中国語を選んだのは自然のなりゆきだったのかもしれませんが。そして一九七五年の四年生の時に二年間の中国留学に旅立ちました。その二年間は、毛沢東の死去に伴い「四人組」が逮捕され、十年の長きにわたる文化大革命が終焉を迎えた一九七六年を間にはさむ、激動の時代でもありました。

毛沢東逝去のニュース（9月9日）は、このすぐ前に起こった唐山地震（7月28日）のために一時帰国し、再び北京に戻る飛行機の中で知りました。さっそく私も北京大学の学生たちと一緒に天安門広場に行き、四人組打倒祝賀百万人大会に参加しましたが、そのとき目にした中国の人たちのあふれる笑顔は今も鮮明に覚えています。

実は、私はこの文革の「おかげ」でとても貴重な出会いをすることができたのでした。というのは、北京大学でも文革の終了と同時に、農村へ労働に送られていた大学教授たちが続々と戻って来たものの、すぐには教壇に立たせてもらえず、それなら留学生相手ならばよかろうと、私た

ち留学生の指導教員に抜擢されたのが、著名な中国現代文学の研究者である楽黛雲先生でした。私は楽先生の女性知識人としての壮絶な生きざまを知るにつれ、文革に至るまでの中国の歴史に思いをはせるようになりました（のちに楽先生の体験が綴られた『チャイナ・オデッセイ』が岩波書店より刊行されました）。

帰国後、大学院に進学して中国の近代文学研究を始めましたが、横浜国大に勤務し始めた八〇年代末から九〇年代初めは、日本でもジェンダー研究が研究分野として確立した時にあたり、私は研究の方向を中国の家父長制研究にシフトしました。男性作家の研究を通して「大文字の歴史」を俯瞰した次は、ジェンダーの視点で中国社会を捉えなおし、「女の歴史」を再現してみたいと考えたからです。

その成果はのちに中国の女性文学を題材にして家父長制の特色を明らかにした『中国女性の20世紀——近現代家父長制研究』（2001）としてまとめることができました。その作業の過程で、同じ東アジアに位置する日本とも共通する問題が多々あることに気づかされ、その後は日中比較をしながらジェンダーの問題を考えるようになりました。放送大学で担当している講義「東アジアのジェンダーと社会」でも日本や中国のさまざまな事象をジェンダーの視点で分析する授業を行なっています。

台湾文学との出会い

二〇一九年、アジアで初めて同性婚が合法化された台湾では、早くも九〇年代から LGBT 文学が大きな高まりを迎えていました。

二〇〇五年から一年あまり北京日本学研究中心に主任教授として赴任していた私は、仕事の合間に中国のジェンダー研究者と交流して、ジェンダー研究には不可欠のセクシャリティの問題に中国でどのような取り組みがなされているか研究の動向をさぐったり、LGBT 支援組織を訪問したりしました。

ただ残念なことに、中国では戦後、一九九七年の刑法改正まで同性愛を犯罪扱いしていたため（「流氓罪」を適用）、LGBT の研究は緒に就いたばかりで、国内で出版された文学作品もそれほど多くはありませんでした。そこでまずは台湾の LGBT 文学の作品集『台湾セクシュアル・マイノリティ文学（全四巻）』（2008～2009）を出版して、東アジアの LGBT の人々が抱える問題を共有したいと考えました。そして作品を選ぶ編集作業をする中で、台湾には LGBT 文学以外にも女性文学や郷土文学に優れた作品が多数あることを知り、それらの翻訳紹介もするようになりました。

それまで台湾へは学会などで数回訪れたことがあるだけでしたが、二〇一〇年に台湾大学に客員教授として半年間の長期滞在をする機会があり、台湾の学生さんたちに中国の女性文学の講義をするかわら、台湾の作家とも交流をすることができました。

私が翻訳をした作品のうち、たとえば陳玉慧『女神の島』は、沖縄から台湾に嫁いだ祖母、大陸から台湾にやって来た外省人と結婚した母、

そしてドイツ人と結婚した「私」の女三代にわたる家族の物語であり、また甘耀明『鬼殺し』には台湾原住民族の血を引く客家の少年を主人公に、日本統治下の台湾の人々のアイデンティティの揺らぎが描かれており、どれも日本の歴史と深いつながりをもったものばかりです。

こうして、最近では台湾文学の翻訳をしながら、その紹介にも微力ながら力を入れるようになり、台湾の作家を日本に招いてシンポジウムをしたり、日本の作家との交流のお手伝いをしたりするようになりました。たとえば早くは二〇〇九年に津島佑子×陳玉慧（神奈川近代文学館）、最近では二〇一七年に東山彰良×甘耀明（ブックファースト新宿）、江國香織×巴代・呉明益・蔡素芬（八重洲ブックセンター）の対談などで司会を務めました。現在はちょうど『台湾文学ブックカフェ』全三巻を刊行中で、昨年一二月に刊行した第一巻『女性作家集 蝶のしるし』は翻訳も私が担当しました。各巻には LGBT 作品も一～二編収録されており、春には関係する日台作家の対談やシンポジウムをおこなう予定です。こんなバラエティに富む台湾文学についても、機会があれば面接授業で取りあげたいと思っています。



「全球文學研究趨緩，台灣文學在日的討論逆勢盛行：白水紀子專訪」

台湾《PPEN BOOK 閱讀誌》2020-06-22 掲載より

2021年10月学生生活に関するアンケート

K-サポート機関誌編集チーム

10月9日(土)神奈川学習センターの入学者の集いは、Zoomを利用したリモート形式で開催されました。59名が参加し、学習センターだより編集部では、入学者対象としては、2年ぶりとなるアンケートを実施して18名からの回答がありました。回収率は約31%でした。

今回のアンケートは、Zoomで入学者の集いに参加した入学者に対して、Googleフォームを利用して実施しました。式の合間に、数回のアナウンスをして協力を促しています。

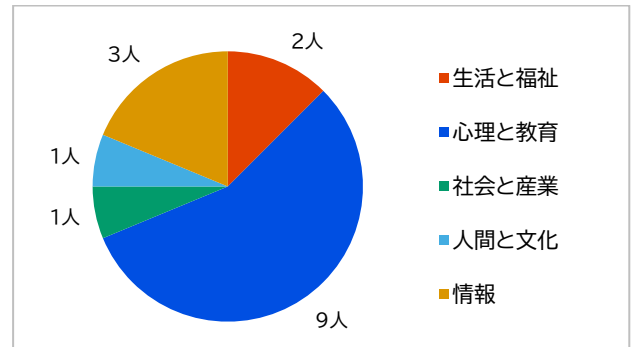
アンケートの回答者数が、18名と少なく、また、結果が、従来のもと大きく異なっている部分がありました。入学者の属性や意識の変化によって変わってきた部分もあると考えられます。そのほかに、入学者の集いが、Zoom利用となったこと(従来は、学習センターに集まって行った)アンケート方法が、Googleフォームを利用していること(従来は、用紙に記入)、回答人数と回答率(入学者の集い出席者数から見た回答率、神奈川学習センターの入学者全体から見た回答率)ともに、低いことが影響している可能性があります。

なお、アンケート項目は、インターネットとパソコンの利用に関する1問を除いて、前回のものと同じの設問としています。項目のいくつかについては、前回2019年10月のアンケートと比較して記載しました。

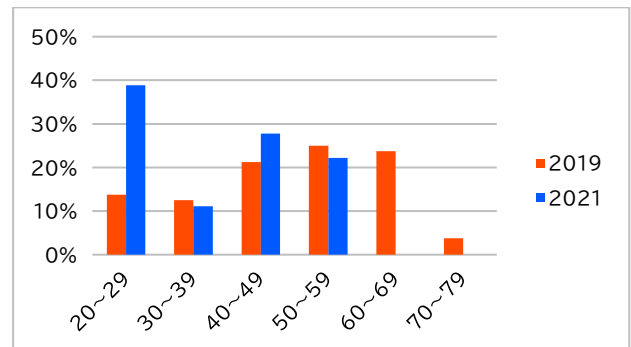
まず、入学者の学生の種類、コースの別から紹介します。学生の種類は、90%が全科履修生で、科目履修生・選科履修生は、各1名、大学院の入学者はありません。また全員、初入学でした。

全科履修生の所属コースの割合を示したのが、次の図です。心理と教育が半数超、次に情報でした。自然と環境はありませんでした。今までと比較しても、心理と教育は多め、情報が際立って多いです。情報が多いいことについては、今回のアンケートに参加するには、情報関係の知識をもって

いることがハードルになって、情報コース以外の回答者が少なくなった影響の可能性があります。

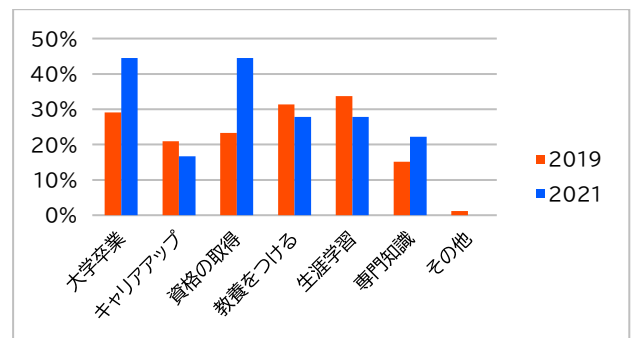


次は、年齢の構成を、前回2019年2学期と比較した図です。



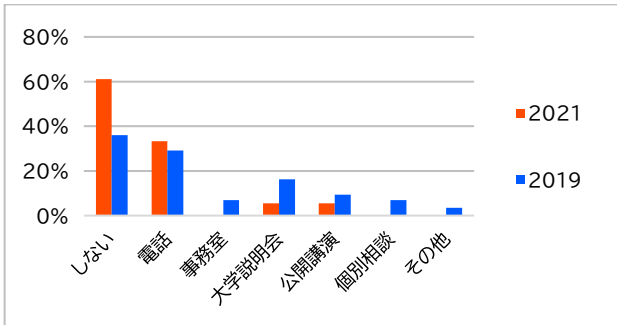
2019年度に比べて20代が3倍、一方60歳以上の方は、皆無になってしまいました。

年齢の高い方がなくなっている原因は、回答者が、初入学生のみで、再入学の方がなかったこと、パソコンスキルの関係で、ZoomやGoogleフォームの利用に難があった可能性があります。若年層が増えているかということ10代も3代も増えていないので、特徴的に20代が増える原因があるのかもしれませんが。

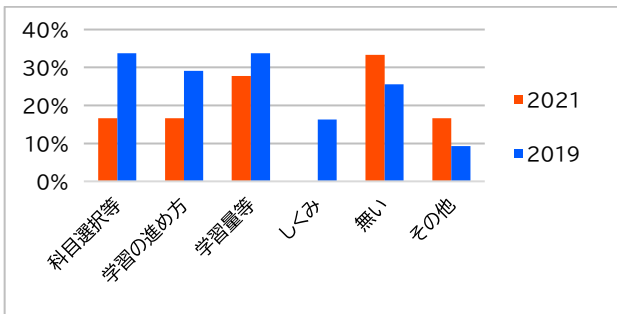


次は、入学動機の 2019 年との比較です。大学卒業と資格の取得が、多くなっています。

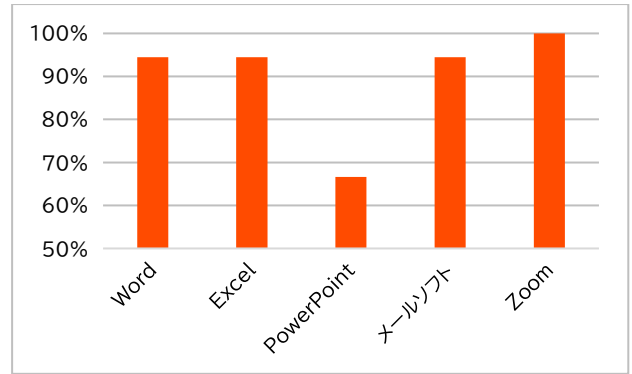
今回、ほとんどが全科履修生なので、卒業が動機というのを挙げる方が多いのは理解しやすいです。初入学の全科生なのに、半数は、卒業を挙げていないと考えると興味深い結果ともいえます。資格の取得が多いのは今回の特徴と言えるでしょう。放送大学は資格の取得とキャリアアップがつながっていること（今までのアンケートの回答結果についても）が多いのですが、資格のみが伸びているのは、年齢構成の影響もあるかもしれません。



入学前に、説明会に参加したり相談したりしたかについてです。コロナ禍もあって、相談しないという方が多くなりました。電話での相談数は変化が少なく、大学説明会等のイベント等がなかった分だけ相談数が減っている形です。



放送大学で、わからないことがあるか？の回答です。2021 年は、「しくみ」をあげた方がなかったほか、比較的簡単なことについては、チェックを入れた方が少なく、「わからないことはない」と答えた方は、多くなっています。全般的に、よく理解されている回答と考えられます。このアンケートに回答するには、ある程度のスキルが必要なので、初歩的なことがわからない方は、回答していない可能性もあります。



パソコンインターネットについての利用状況の設問です。今回は、ある程度のパソコン、インターネットスキルのある方が、参加するとの仮定から、設問を変え、入学時に必要な最低限のスキルではなく、「卒業までに必要なスキル」について聞いてみました。結果は、思いのほか高い回答率で、入学時に一定のスキルを持っている方が、ほぼ全てとわかりました。パワーポイントが低いのは、20代の方が多いので、ビジネス経験で身につける機会がなかったのではないかと考えられます。

全般的に、意欲もスキルも高い方が多い結果となりましたが、回答数が少なかったので、アンケートに答えていない方にサポートを必要とする方はいないか。また、人に頼っていない回答が多いことから、何か躓きがあった時に、学習センターやK-サポート等で、支援できる体制があるとよりよいと考えられます。

○自由記入欄

- ・ていねいな説明で、具体的な勉強方法がわかってよかった。(4名)
- ・入学者の集いに出席して「大学生になったんだ」と実感できた。(2名)
- ・サークルやK-サポートなど頼ることのできるものがあることがわかった。
- ・放送大学大学院や他大学院への進学について説明があるとよかった。
- ・自主的に沢山の疑問を持ち、学習センターを利用したい。
- ・学習センターが通常どおり開所するようになったら、積極的に利用したい。

令和3年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧

神奈川学習センターのゼミは、客員教員が主催する勉強会です。実施方法は、①「学習センターでの対面式」、②「Web 会議システム等オンライン」、③「①と②の併用式」があります。①の**学習センターでの対面式の場合**、本センターの教室を使用するのゼミは現在**教員を含めて10名以下**としております。ゼミの開講状況、実施方法については、**教員までご確認ください。**

●神奈川学習センター客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	開催予定日	連絡先
飯田 深雪 新規開講	世界の多様性を学びながら育む英語コミュニケーション能力	毎月 第2土曜日	iidamcat9@gmail.com
植村 博恭	グローバル時代の社会と経済政策 ：生活者の視点から考える	原則月2回 金曜日または土曜日（曜日は変更の可能性あり）	huemura@symphony.plala.or.jp
大谷 英雄 新規開講	化学災害を知る	毎月第3火曜日を想定しているが、学生との調整により変更もあり	ohtani-hideo-hc@outlook.com
高橋 邦年	英語基礎ゼミナール	基本的に毎月 第2土曜日または第3土曜日	takahak18@gmail.com

●元客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	開催日	連絡先
上川 孝夫	上川ゼミ	原則 第3土曜日	kamikawa@ynu.ac.jp
杉田 正樹	哲学カフェ	原則 第3金曜日	msugita@kanto-gakuin.ac.jp
角 洋一	角ゼミ	原則月1回 第2木曜日	sumi@ynu.ac.jp
種田 保穂	種田ゼミ	月1回程度	taneda-yasuho-pj@ynu.ac.jp
茂木 一衛	茂木ゼミ	毎月 木曜日1回、日曜日1回	kmoteki@nifty.com

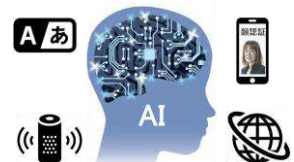
神奈川同窓会主催「年末特別講演会」の紹介

神奈川同窓会では新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の新規感染者数が減少し、安定状態の2021年12月18日、恒例の「年末特別講演会」を開催することが出来ました。横浜国立大学准教授の杉本千佳先生にご講演を依頼し、年末にもかかわらず快諾して頂き感謝いたします。開催に際し、神奈川学習センターのご協力を得て今回初めて同窓会契約のZoomによるオンラインおよび一部対面方式で行い、次に繋がる知見を得ることが出来ました。



杉本千佳 先生

演題は「身近な AI を支える技術の進展」で、先生のシラバスに「急速に進化する AI 技術とどう向き合っていけばよいのかを考えるヒントとして、その仕組みの一端を説明し、AI の広がりや可能性とそこに潜むリスクを紹介する」とあります。先生解説の「画像認識・音声認識・感情認識」を絵にすると「脳」のシナプス結合と似てきます。AI は異次元のものではなく身近な時代になり、悪用されないセキュリティが重要と感じました。



神奈川同窓会 金田 保男

2022 年度第 1 学期単位認定試験のお知らせ

放送大学では、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に単位認定試験の実施方法の改善に取り組んでおり、2022 年度第 1 学期単位認定試験（2022 年 7 月実施）については、**Web 受験方式**（一部科目を除く）にて実施します。詳細については、2022 年度第 1 学期授業科目案内などをご確認ください。

現在、実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、Web 単位認定試験システムの体験版を公開しています。システム WAKABA の学内リンクからアクセスできますので、**受験に使用する予定の端末から、2022 年度第 1 学期単位認定試験期間までに必ず体験版の操作を行ってください。**

インターネット環境がないまたはパソコン操作が困難な方へ

「Web 受験方式」の科目について、ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等のご事情があり、Web 受験が困難な方は、**学習センター受験申請書**を期限内（2022 年 4 月 1 日（金）～5 月 23 日（月））に放送大学本部に提出することで単位認定試験を学習センター等で受験することができます。学習センター受験申請書は印刷教材等に同封します。

Web 単位認定試験システム体験会のお知らせ

神奈川学習センターでは、パソコンの操作に不安のある方やご自宅にインターネット環境がない方のために、下記の通り **Web 単位認定試験システムの体験会**を開催します。K-サポートのパソコンサポートチームがログインや択一式問題の解答に必要な操作などのお手伝いをします。ご希望の方は、2 月 27 日（日）までにお電話で（神奈川学習センター：045-710-1910）お申し込み下さい。なお、**新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止する場合がありますのでご了承下さい。**

開催日時

3 月 8 日(火)～3 月 12 日(土)

各日 ①10:30～11:30

②13:00～14:00 各回 10 名まで

③15:00～16:00 先着順

開催場所

放送大学神奈川学習センター

K-サポートより

K-サポートは、在学生などの有志が他の在学生や学習センターを支援する活動ですが、新型コロナウイルスの発生後は対面で行う活動を見合わせてきました（機関紙編集チームによる、本センターだよりの編集への協力のみインターネット利用により実施）。

現在（2022 年 1 月下旬）、対面の活動を停止して以来はじめて、パソコンサポートチームが『Web 単位認定試験体験版』の自習を希望する学生の皆さんと一緒にパソコン操作をする活動を学習センターと共に企画しています。

参加者と共に自習体験をする予定の 1 人であるパソコンサポートチームの鈴木康年チームリーダーからのメッセージを次の通り紹介します。

「本番の Web 受験においてパソコン操作に戸惑うことをできる限り減らす必要があります。そのために事前に神奈川学習センターのパソコンを使用して放送大学の『Web 単位認定試験体験版』を自習として体験する支援を実施いたします。対象は択一式問題に限定します。パソコン操作初心者のご参加をお待ちします。」

K-サポート事務局

学生サークルからのお知らせ

※サークルの活動内容や加入等に関するお問い合わせは、下記の各サークルの連絡先にお問い合わせ下さい。神奈川学習センターではお答えすることができません。

現在、学習センターの利用制限等により、平常時と異なった活動になっています。現在の活動と平常時の活動が記載されていますので、ご注意ください。

○神奈川放友会

わたしたちは、1985年当センター開設と同時に生まれたサークルで、「人間的交流を通じて豊かな学生生活を共有する」という理念の下に、多くの会員が様々なイベントや会内同好会に集い共に学んでまいりました。先期はコロナ禍のため、活動が極度に制限された苦しい1年でしたが、新年度はリアルな交流活動を再開してゆこうと張り切っています。ぜひ当会に入会され、共に学び共に語り合しましょう。詳しくは、ホームページ <http://kanagawa-hoyukai.jp/> をご覧ください。

お問い合わせは、事務局：真野憲助まで。(メール：mano.ken@nifty.com 電話：090-3507-7540)

○韓国語同好会

★目的 韓国語の日常会話を習得する。日韓交流会を通して韓国の歴史や文化に直接触れる。

★定例会 月2回 第2, 第4土曜日(基本)10:00~12:00 ①Zoom(リモート)授業60分&会員ミーティング30分 ②対面授業90分 <大岡地区センター&学習センター>

いずれも講師：姜貞福(강정복)先生です。

(①②のいずれかで実施)

★Zoom(リモート)親睦会 11:00~12:00

会員に限らず有志で実施

★問合せ 神奈川サークル協議会ホームページ

<https://kcc-oug.net/danntai/hanngugo/>

090-5797-9418(村田)

○資格取得研究会

看護・福祉分野(心理や教育系も含む)のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。目標の資格は、正看護師、看護学士、認定心理士など。例会は、ひと月に1回、土曜または日曜に開催。情報交換が中心。オンライン例会計画中。

★会費：¥500(1年間)

★ホームページ… <http://shikaku.yumesora.net>

★お問い合わせ…080-5546-7913(はこざき)

○人間学研究会

★「目的：人間の本質的・実質的なあり方について、多面的視野から学習。会員の交流と親睦を図る」 会員 71名(男性 42 女性 29)

*月例会：卒業研究・旅行等のテーマで発表

2月27日 13:30~「わが白秋のときー

放送大学での20年」(会員発表)

3月26日 総会

(会場：大岡地区センター会議室2月3月同じ)

★会誌「せせらぎ」32号を発行

★ウォーキング：2月観梅予定

★お問い合わせ：大和田克美

oowada-katsumi@u01.gate01.com

○うえるかむ Kanagawa

私達は英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

*例会は原則、毎月第2、第4水曜日。現在、Zoomを利用したオンライン開催

*外国人講師の英会話レッスン(10:00~11:30)

(参加費有料、初中級・上級の2クラスに分かれ、各45分)

*Group Study(13:30~15:30)

(入門・初級・中級・上級の4クラスに分かれ学生同士で学ぶ)

*10月以降状況によりオンライン・対面併用検討中

*年会費：現在は無料(通常は年1,000円)

*ホームページ

<https://welcome-kanagawa.jimdofree.com>

*問い合わせ

金子 響(e-mail:kaneko-toyomu@outlook.jp)

○放大かながわレク・サークル

★サークル活動：放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」

★例会：2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)

★ウォーキング：2ヶ月に1回、「日光街道」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

★問合せ：島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yoshiharu@coral.plala.or.jp

○ダンスサークル(社交ダンス)

学習センター閉鎖中は活動休止

ダンスはスポーツ！人生 100 年時代に向けて健康増進、素敵な姿勢、ストレス解消に是非一緒に踊りましょう。未経験者大歓迎！

★神奈川学習センター第 7 講義室★毎週火曜 14:00～16:00(第 1, 第 3 週は自主練習)★会費 1500 円/月、年会費 1000 円★ダンスパーティーで踊れるレベルへ練習(モダン、ラテン)★全科履修生の方は 30 時間のレッスンで体育実技 1 単位の取得が可能。

連絡先 中村健 tarumakan0904n@gmail.com

○スペイン語研究会

★目的:西語日常会話習得と西語圏歴史・文化を学ぶ。★活動:月 2 回(第1・第3 木曜日)。★会費:月 1,000 円。★内容:ペルー人女性講師による日常会話習得、会員・ゲスト スピーカーによる西語圏研究発表・講演。★その他:反省会等。★学習センター閉所中は、大岡・南地区センター利用。★連絡先:会長・肥後照雄・メールアドレス: t_higo@cb3.soc-net.ne.jp

○中国語学習会

中国語の日常会話の習得を目指して楽しく学んでいる団体です。ベテランの中国人講師 2 名の発音を重視した指導のもと、コロナ感染状況が収束するまではオンラインでの学習会を原則、月 3 回、第 1、第 3、第 4 日曜日に初級、中級を交互に午後 2 時半より 4 時まで開いています。初めて中国語を勉強する人も楽しめます!! 先ずはお問い合わせ下さい!

★お問い合わせ:shonan.hirasawa@gmail.com 平澤

○神奈川合唱団

★合唱を愛好する皆さんと一緒に音楽を通して学生生活をエンジョイするサークルです。現在 30 有余名の学生が合唱を楽しんでいます。

★今年は、チャリティ・コンサート(神奈川公会堂)出演に向けて<アニーローリー>、<心の瞳>を歌う予定で練習を続けております。

★合唱を楽しみたいとお思いの皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

★指導は、発声・歌唱を清水一成先生、ピアノ伴奏を新井ゆう子先生のご指導で練習に励んでおります。

☆場所:大岡地区センター 音楽室 2 階
(放大神奈川 SC の斜め前のビル)

☆練習日:毎月 第 2・4 水曜日 18:00～20:00

☆連絡先:馬場信一 s-baba820@leaf.ocn.ne.jp

○歩・歩の会(地球研)

目的:地球科学ゼミ(有馬ゼミ)を発展的解消し、結成されたサークルで、地球科学をベースに自然を学び「人新世(Anthropocene)」における地球環境危機について考え、SDGs に寄与していきたい。

活動:毎月一回程度

活動場所:三浦半島海岸、伊豆大島、丹沢山地、伊豆東部単成火山群の地質、地層の観察、各地の Geo Site 行脚。

☆ご興味のある方はご連絡ください。(代表:吉岡・中澤)

e-mail earth.hoho.kanagawa@gmail.com

神奈川同窓会だより

春のフェスタ特別講演会のお知らせ

来る 3 月 19 日(土)、同窓会、サークル協議会、K-サポート 3 団体共催による福富洋志所長のオンライン講演会を開催します。

会員には hatoh-net で詳細をご案内しますので、ご参加ください。

同窓会に対するお問合せは info@hatoh.net

OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、三国(以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

中ノ園(学習センター事務局)

神奈川学習センターからのお知らせ

神奈川学習センターの施設利用について

1月21日から神奈川県に「まん延防止等重点措置」が適用されたことに伴い、学習センターの利用を大幅に制限しています。

新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、利用時間などを今後変更する可能性がありますので、学習センターの利用にあたっては事前に神奈川学習センターウェブサイトをご確認ください。

ご利用いただけない事項	事務室窓口業務全般（学生証引き渡し、各種証明書の発行、印刷教材等の購入等）、視聴学習室・図書閲覧室の利用、対面でのゼミの実施、団体施設利用、来所による入学・学習相談
利用可能な事項	予約図書の貸出・返却、電話又はZoomでの入学・学習相談（要予約）

公開講演会のご案内

下記の通り、神奈川学習センターと横浜市大岡地区センター共催の公開講演会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

演題：「音楽と物語」

講師：茂木 一衛 先生

横浜国立大学名誉教授

♪クラシックの名作音楽の中から物語性を持った音楽を選び、聴きどころ、感動の源、そして新たな可能性などを探ります

♪視聴覚資料や生の演奏を生かしての内容です

日時：2022年3月5日（土）
13時30分～15時30分

会場：横浜市大岡地区センター
3F レクホール

定員：40名

申込：2月12日（土）から電話で受付

☎ 045-710-1910

お願い：上履きをご持参ください



図書サービスの一部変更について（2022年4月1日から）

2022年4月1日から神奈川学習センターの所蔵図書および雑誌はセンター内での閲覧のみとし、貸出は行わないこととなりますのでお知らせいたします。

1. 貸出は放送大学本部附属図書館で一括して行います。（学習センターでの受取・返却、自宅配送は従来のとおりです）
2. 学習センター配架図書は、センター内で閲覧することができますが、貸出はできません。
3. 図書室職員は原則不在となります。附属図書館配架図書の検索・貸出予約は、OPACで行ってください。

2019年4月以降、放送大学では全国の各学習センターにおいて、学習センター所蔵図書および雑誌はセンター内での閲覧のみとし貸出は不可となっております。コロナ禍の影響および蔵書の大規模整理作業により、蔵書利用が停止している期間はありましたが、神奈川学習センターは例外措置として猶予され、継続してセンター所蔵図書の貸出を行ってききましたが2022年度より他学習センターと同様の運営となります。

また、上記の変更に伴い、図書室および視聴学習室の工事を実施するため、2022年度末までの間で臨時閉室が発生する予定です。

ご不便をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願いたします。